カバ振興協会サン・サドゥルニ

協会本部

協会について

CONFRARIA DEL CAVA SANT SADURNI コンフラリア・デル・カバ・サンサドゥルニ（カバ振興協会サン・サドゥルニ－以下カバ振興協会）は、スペインの伝統的製法によるスパークリングワインとして評価の高いカバの総合的普及促進を目的とし、1979 年に設立された
権威ある非営利の団体組織です。

協会の本部はカバ生産のほとんどを占めるカタルーニャ州、バルセロナから南西に約4、50キロほどのところにあるサン・サドゥルニ・ダノイアにあります。

現協会会長ペドロ ボネット フェラー

フレシネ社広報宣伝担当役員

カバはスペインワインを代表するワインのひとつであり、またヨーロッパの原産地呼称ワインとして、その品質には定評のあるワインのひとつです。 カバ生産者の多くは数世代にわたり、家族経営によるワイン造りを行ってきました。

カバ造りの始まりは19世紀末にフランスから広がったフィロキセラ虫（ブドウネアブラムシ）の被害がピレネー山脈を越えサン・サドゥルニ・ダノイアも及んだのを機に、高品質のスパークリングワインを造る為に葡萄の品種を改植し、醸造設備を転換したことからスタートしています。

同協会設立以来、現在では 4000 人を超える会員数に達し、カバはその品質と共に年々国際的に知られるようになりました。 カバ振興協会はさらに世界中にカバの名称を広めその評価を高めていく為、今後とも精力的に啓蒙活動を展開していきます。

カバの総合的な啓蒙活動は、協会設立と共に始まり、騎士と呼ばれる会員の入会式や 1982 年からスタートした「カバ・ウィーク」の開催などにより、目覚しくその効果を上げています。
年間を通じて、カバの国内外への普及を目的としたフェスティバルや、技術・文化等あらゆる分野でのイベントを企画しています。 これらの活動は素晴らしい成果を挙げてきましたが、中でも積極的に国内外にわたって主要なマスメディアを利用し幅広い普及を図ってきました。

カバ振興協会は、総会で選ばれる参事協議会によって統括されています。
また、本協議会も有し、協会設立メンバー、各参事協議会の会長及び副会長、若い世代へのカバ文化普及に情熱を傾ける青年コンフラリアのメンバーによって構成されています。